

会 議 録

会議の名称	平成 30 年度第 1 回茨木市文化財保護審議会	
開催日時	平成 30 年 11 月 30 日 (金) (午前・ <u>午後</u>) 6 時 0 0 分 開会 (午前・ <u>午後</u>) 8 時 0 0 分 閉会	
開催場所	茨木市役所南館 6 階 第 1 会議室	
会長	西山 要一 (奈良大学 名誉教授)	
出席者	井上 典子 (追手門学院大学地域創造学部 教授) 塩出 貴美子 (奈良大学 名誉教授) 東野 良平 (近世建築史研究調査会 代表) 菱田 哲郎 (京都府立大学文学部 教授) 藤井 裕之 (吹田市立博物館 副館長) 藤岡 穰 (大阪大学大学院文学研究科 教授) 山中 理 (公益財団法人白鶴美術館 顧問) 吉川 真司 (京都大学大学院文学研究科 教授)	【 9 人】
欠席者	高木 博志 (京都大学人文科学研究所 教授)	【 1 人】
事務局職員	岡田祐一教育長、乾克文教育総務部長、 乾友範歴史文化財課長、前田聡志歴史文化財課長代理兼調査管理係長、 谷口賢輔保護啓発係長、黒須靖之学芸員、清水邦彦学芸員、 坂田典彦発掘調査員、桑野梓学芸員	【 9 人】
開催形態	<u>公開</u> / 非公開	
議題 (案件)	(1) 総持寺縁起絵巻 (享保本) について (2) 千提寺菱ヶ谷遺跡について	
配布資料	(1) 平成 30 年度 第 1 回 茨木市文化財保護審議会資料	

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
事務局	【開会】 平成 30 年 4 月の機構改革の説明。
教育長	【開会挨拶】
事務局	【会議の成立】 全委員 10 人中 9 人出席につき、茨木市文化財保護審議会規則第 4 条第 2 項の規定により、本会議は成立する旨を説明。 【委員、事務局職員の紹介】 委員、および教育長以下、事務局職員の紹介。
西山会長	本審議会及び会議録を公開とするのか非公開とするのか審議したい。まず、事務局から説明をお願いします。
事務局	本市では、「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、個人に関する情報を審議する場合を除き公開を原則として審議会に諮ったうえで決定することとしている。また、審議に関する資料についても審議会の同意を得て傍聴人に閲覧させることができることとしている。なお、傍聴者が資料の持ち帰りを希望する場合は審議会の判断で配布することもできるとしている。会議録についても、その作成と公表に努めている。
西山会長	この会議及び会議録は公開とすることが原則になっているが、資料については個人情報が含まれる場合や権利関係の情報を含むことがあるため、傍聴者に閲覧は許可するが、持ち帰りは許可しないとすることがしたいがいかがか。
各委員	(異議なし)
西山会長	それでは、会議及び会議録を公開とし、資料については傍聴者に閲覧は許可するが、持ち帰りは許可しないとす。 傍聴者はいるか。
事務局	いない。
西山会長	それでは、審議を進めていきたい。今回は諮問案件が 2 件ある。事務局

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
	から説明をお願いしたい。
事務局	<p>今回、「総持寺縁起絵巻（享保本）」と「千提寺菱ヶ谷遺跡」の2件について諮問をお願いしたい。前者については、平成28年4月1日付で、すでに諮問しており、継続中である。後者については、このたび市指定記念物（史跡）として諮問したい。</p>
西山会長	<p>「総持寺縁起絵巻（享保本）」については、すでに平成28年に諮問を受けているので、新たに「千提寺菱ヶ谷遺跡」について、岡田教育長から、諮問書をお受けする。</p> <p>【諮問書提出】</p>
西山会長	<p>それでは、すでに諮問されている「総持寺縁起絵巻（享保本）」について、これまでの経過について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>平成26年度第1回当審議会で、塩出委員から新たに発見された「総持寺縁起絵巻（享保本）」についてのご紹介と指定候補としても遜色のないものとしての指摘をいただいた。平成28年度第1回審議会でご報告をいただき、同年度第2回の審議会において、その意義について塩出委員より説明をいただいている。</p>
西山会長	<p>それでは、「総持寺縁起絵巻（享保本）」について、塩出委員に調査研究の報告をお願いしたい。</p>
塩出委員	<p>「総持寺絵巻（享保本）」について、資料およびパワーポイントを用い、その資料的価値を説明。</p>
西山会長	<p>ただいまの報告について、意見・質問をどうぞ。</p>
西山会長	<p>約30年かけて完成したとのことだが、このような絵巻の場合、よくおこりえることなのか。</p>
塩出委員	<p>そうではないと思う。ただ、古い絵巻が傷んでしまい、詞だけ付け替</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
西山会長	<p>える、もしくは絵を描きかえることもある。</p> <p>これは描きかえではなく、完成本でよいのか。</p>
塩出委員	<p><small>ことばがき</small> 詞 書 の要旨そのものは時代差がなく、ある時期につくられたもの。</p> <p><small>と き み つ な り</small> 土佐光成の没年が 1710 年だが、享保 12 年（1727 年）よりはだいぶさかのぼる。ほぼ完成していて、何か足りないものがあったのではないかと推測している。</p>
西山会長	<p>他に意見・質問はないか。</p> <p style="text-align: center;">（特になし）</p>
西山会長	<p>引き続き、諮問があった「千提寺菱ヶ谷遺跡」について、事務局に説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>千提寺菱ヶ谷遺跡第 1 次から第 6 次確認調査の経緯・経過について、パワーポイントを用いて説明後、資料を基に周辺の調査事例やキリシタン墓の特徴を紹介し、千提寺菱ヶ谷遺跡の現在の位置づけについて説明。</p>
西山会長	<p>菱田委員いかがか。</p>
菱田委員	<p>この遺跡の重要性は近世の禁教下においても信仰が守られ、数多くのキリシタン遺物が伝えられた地域に所在する点である。一方で、キリスト教の信仰を示す近世文書があるわけではない。そのため、千提寺菱ヶ谷遺跡は隠れキリシタンの地域における人々の暮らし等、他地域の遺跡では得られない重要な情報をもっている。</p> <p>千提寺菱ヶ谷遺跡は千提寺のなかでもやや外れにあたる場所であるが、近辺で新名神高速道路の建設に伴う調査により、伸展葬を中心としたキリシタン墓が見つかっている。千提寺菱ヶ谷遺跡も当然、そういうものの存在が期待される場所である。</p> <p>調査では、千提寺西遺跡等で見つかったものより新しいと考えられる埋葬が見つかったが、時期的に江戸時代におさまるか、近代までくたさるのかが悩ましい。ただし、近代であれば、地域で情報として知られている可能性を考慮すれば、近世のなかでおさまる可能性が高いと思われる。</p>

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
	<p>見つかった埋葬は類例がないものであり、この意味するところが何かは論者によって異なるだろう。しかし、隠れキリシタンの信仰があった時期におけるこの地域の様相を示す貴重な資料であることは間違いない。将来的に、このような遺跡の調査をつないでいくことによって、近世におけるこの地域の人々の暮らしや信仰をより明確にすることが期待できる。今回の調査をその端緒となるように位置づけていくことが適切ではないか。禁教下の隠れキリシタンの埋葬そのものが全くわからない状況であり、そういう世界を手探りで探っていく資料の一つと感じている。</p> <p>将来的にはこの地域全体が隠れキリシタンの信仰を守った場所としての景観をもっており、千提寺菱ヶ谷遺跡は竜王山をまっすぐに見ることができるところも含めて、この地域景観の保全のなかにも取り入れることができる遺跡ではないか。将来的にこの地域全体を評価していくなかでの、一つの足がかりとなる遺跡として評価してみたらどうかと思う。</p>
西山会長	他に意見・質問をどうぞ。
西山会長	今回見つかった長方形の墓は、キリシタンの特徴なのか。類例がまだ非常に少なく、その性格を確定することは難しいのか。
菱田委員	禁教以前の16世紀代については、九州や近畿で、キリシタン墓の特徴である伸展葬が見ついている。禁教下になると、わからない。一般的な近世墓は座棺だが、千提寺菱ヶ谷遺跡の事例は一般的な座棺とは異なる長方形が踏襲されているという点ではキリシタンとの関係性が考えられるかもしれない。なぜ長方形なのかがポイントになる。
西山会長	現地やキリシタン遺物史料館に行くと、独特の山に囲まれた景観がある。新名神高速道路の建設によって損なわれた点は残念だが、この景観をのこしていくことも大切である。この点も市指定を目指す一つの目的であるということであった。さきほどの塩出委員の報告も含め、二つの指定案件について意見・質問はないか。
藤岡委員	この縁起をつくる契機に何が考えられるのか。 ^{ゆうせつぽん} 友雪本の場合、復興との関連を想定できるが、享保本も同様の背景なのか。完成まで時間がかかっていることも含めて、どう考えることができるのか。
塩出委員	時期的なことを考えると ^{りゅうけい} 友雪本は ^{かんじん} 隆慶による復興の時期と合う。勧進

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
	<p>を広く呼びかけるとい文章もあり、まさにそれに^{のつと}則っている。一方、享保本については全く史料がない。個人的な意見だが、第8段の絵の描き方が全く異なり、友雪本は近世の当時の風俗図であるのに対して、享保本は誰一人、人間が描かれておらず、まさに聖地を表現している。また、宇多天皇の^{ぎょうこう}行幸を描いており、復興が達成され、寺院としての権威付けをするために享保本は描かれたと考える。</p>
西山会長	他に、意見・質問があるか。
藤井委員	千提寺菱ヶ谷遺跡の墓は江戸時代ということだが、絵図や文献史料である程度おさえることはできるのか。もう一点、石の採掘と墓の関係について、どう考えているのか。
事務局	該当する文献史料は現在のところ見当たらない。石の採掘と墓の関係だが、1号人骨の墓のなかに、花崗岩の割石が出てきた。墓碑にあたる可能性も考え、文字等がないのかを確認したが、なかった。Cタイプの矢穴痕をもつ割石が放り込まれていた状況で、採掘自体は地元で消費するためのものとするが、墓との関係については現段階で不明である。
西山会長	SK1の断面図をみると、墓を造った後に入ったものではなく、墓に土を入れながら石も入れている。これについてもなにがしかの意味が見いだせるのかもしれない。東野委員いかがか。
東野委員	もう少し広範な遺跡の調査を進めることで、資料を収集する必要があると思う。現段階では、仮説に基づく点が多いので、絶対にこうだという決め手となりえるものを見つけていく努力をしていただきたい。
西山会長	いまのご意見について、回答があるならどうぞ。
事務局	周辺の調査については、新名神高速道路の建設に伴う調査が（公財）大阪府文化財センターによっておこなわれており、一般的な近世墓やキリシタン墓が見つかっている。図面や遺物等については、本市へ移管していただいており、これらの資料を研究していくことを併行して進めていきたい。
西山会長	他に、意見・質問があるか。

議 事 の 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
	(特になし)
西山会長	<p>「総持寺縁起絵巻（享保本）」については、これまでの経過と本日の報告で茨木市にとって重要な資料であるという評価をいただいた。こちらについては、本日の審議会で茨木市指定有形文化財に指定という結論を出したが、いかがか。</p>
	(異議なし)
西山会長	<p>それでは、「総持寺縁起絵巻（享保本）」については、茨木市指定有形文化財（絵画）として指定する旨の答申をする。</p>
西山会長	<p>「千提寺菱ヶ谷遺跡」については、今回の審議でも色々と位置づけの問題や質問等をいただいた。これらの点を踏まえて、さらに調査研究を進めていただきたい。東野委員が指摘したこの近辺の資料、あるいはもっと広く九州等の資料とも比較しながら、よりこの遺跡の性格、あるいはこの遺跡やこの研究が重要だということを突き止めていただきたい。</p>
	【答申書收受】
西山会長	<p>以上、本日の案件はすべて終了した。平成 30 年度第 1 回茨木市文化財保護審議会を閉会する。</p>
事務局	<p>次回、審議会の開催については、案件【2】「千提寺菱ヶ谷遺跡」の審議も予定されていることから、委員改選前の平成 31 年 2 月下旬までにはおこないたい。委員の皆さまの出席をよろしくお願いしたい。</p>
	以上。